

しりべしミュージアムロード共同展

紙にま

ものがたり

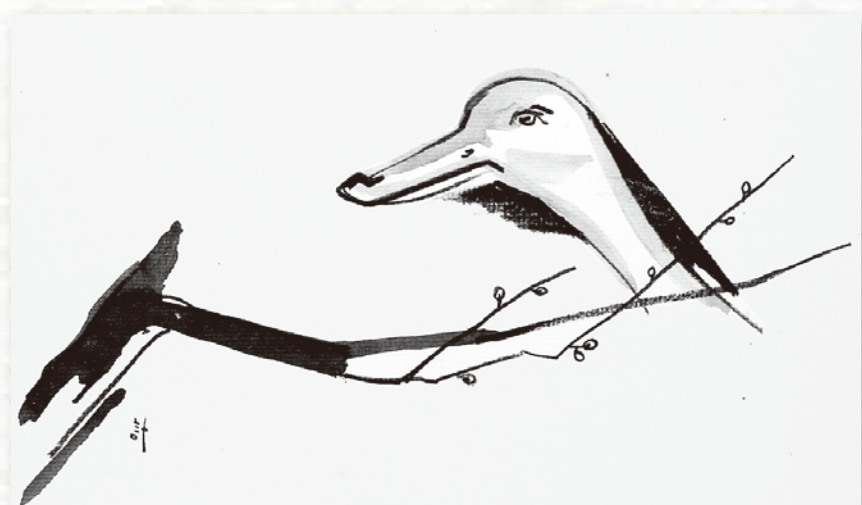
2024年7月13日(土)～9月23日(月・祝)

【紙】は私たちにとって最も身近にある支持体です。この文章を読んで、あなたも、画用紙やノートへ自分の感じたことを描く、もしくは綴るといった経験をしたことがあるのではないでしょうか。

「しりべしミュージアムロード」の作家たちもまた、紙の上に独自の世界を展開させ、作品として発表しました。線で、色彩で、あるいは言葉で紡がれた紙上の物語を、各館の小テーマにそって紐解く今夏の共同展。「紙にまつわるものがたり」を巡る小旅行へ、みなさまをご案内いたします。



藤倉英幸「美国倉庫」2005年



西村計雄「あひる」制作年不詳



小川原脩「犬」1969年



パブロ・ピカソ「牡牛の帰還」1945年



木田金次郎『銀行生誕』表紙下絵 1956年頃

●各館タイトル●

岩内 荒井記念美術館「ピカソの思いつき」 ニセコ 有島記念館「夏から秋の藤倉英幸展」

倶知安 小川原脩記念美術館「画稿 紙から、はじめよう。」 岩内 木田金次郎美術館「画家と蔵書のものがたり」

共和 西村計雄記念美術館「芸術“紙”上主義」

主催／一般財団法人荒井記念美術館、有島記念館、小川原脩記念美術館、木田金次郎美術館、西村計雄記念美術館

後援／公益財団法人道銀文化財団、しりべしミュージアムロード推進協議会、後志学芸員連絡協議会